

安城ロータリークラブ



週報

【No.615 2013/11第4例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866

FAX:0566-74-5678

Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP :http://www.anjo-rc.org

第2756回例会

2013年11月24日(日)

例会変更・・・RID2760 2013-14地区大会



2013-2014年度RIテーマ：

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針：

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

- 会長：都築 雅人
- 幹事：神谷 研
- クラブ会報：青山竜也・川合昭道・加藤英明
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日

■RI会長メッセージ

2013-2014年度国際ロータリー会長 Ron.D.Burton

今日のロータリークラブの例会風景は、一見して、50年前の例会とは大分様子が違って います。また、34,000あるクラブすべてを訪れれば、さまざまな経歴を持つ人々が、世界のあり とあらゆる言語を話し、地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っ ている姿を目にするでしょう。週末に近所の公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラ ブと協力して何千キロも離れた学校の衛生設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法 で、この世界をより良くするためにロータリアンは活動しています。

今日、ロータリーで目にする多くのことは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変 わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわ ち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。これらの価値観こそが、ロータリアンと して私たちを定義づけるものです。私たちは、これらの価値観に従って生き、地域社会にこれらの価値観を広めよう と努力しています。

私たちは、推薦され、その推薦を受諾することを選択してロータリーに入会しました。そして、入会した後も 日々選択を行っています。それは、ロータリークラブの単なる一会員であるか、真のロータリアンとなるか、の選 択です。

ロータリアンであるということは、週に一度例会に出席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法 で世界を見ること、そしてその世界における自分の役割を見ることです。地域社会の問題を自分自身の責任とし て受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、正しい道 を歩むことを意味します。

私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。人生におけるあらゆる 物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だ けなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足感は得られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、 ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか が見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワー が湧くのです。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはず です。

2013-14年度のロータリーのテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは、「ロータリーを實踐し みんなに豊か な人生を」です。

皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です。



田中正規ガバナー、来賓の皆様、過去、現在、また将来の役員の皆様、並びにメンバーの皆様 名古屋に到着して皆様から温かくお迎えいただき、親切におもてなしを賜りましたこと、心より御礼を申しあげます。このロータリー独特の雰囲気の中にいられることを、妻も私も特別な恩典だと考えています。

私たちが今日この場にいられたことは二重の意味で恩典です。ロンバートン国際ロータリー会長、並びに奥様のジェッタさんに代わってこの光栄を賜り恐縮ではありますが、この機会を授かったことを感謝しています。

ロン会長とジェッタさんより、皆様一人一人に宜しく伝えてほしいと、また実り多き会議の成功をお祈りしているとの伝言を預かって参りました。もし可能であったなら、お二人がこの場を訪れて皆様と友情の握手を交わし、ロータリーの親睦を図られたに違いありません。しかしながらロンは、世界各国532の全体会議全てに出席することはできないのです。

また私たちの国フィリピン3830地区にある86のクラブ約2,400名のロータリアンからも、皆様に心よりのご挨拶を申し上げます。

このような全体会議はロータリーの年度毎に行われています。これは実にユニークな催しで、各地区における1年のハイライトです。例えば、ガバナー月信で目にしていた遠くのクラブやメンバーの名前が突然身近なものとなります。文字だった名前が実は生身の人間であり、血の通ったロータリアンであるという嬉しい発見をし、ロータリーの素晴らしい特徴である友情と親睦を体験できます。この素晴らしい集まりを見渡してみてください。私たちの職業は多岐に亘ります。そしてこの多様性の中にこそ、新しい友を作り旧交を温めるべく皆様をこの場に団結させた金の糸があるのです。心温まる親睦活動を大いに活用しましょう。

私たちは共通の理想によってここに集まり、共通の信念を分かち合っています。この会場には本物のロータリー精神があります。ここ名古屋で妻のミタと私を迎えてくれた皆様の温かさの中にこそ、本物のロータリー精神があるのです。

親愛なるロータリアンの皆様、ロータリーは全世界で覚醒してきました。ロータリーはこれまで、いかなる政府や権力者よりも上手に、人類に奉仕する善意の人々を結び付けてきました。ロータリーは欧米の組織ではなく、日本やフィリピンの組織でもなく、それ以上のもの、社会現象であると言えます。それは素晴らしいことです。ロータリーにとって素晴らしいことであり、世界にとっても素晴らしいことです。今日の私たちにとっても素晴らしいことです。肌が黒くても白くても褐色でも黄色でも、またキリスト教徒でもユダヤ教徒でもイスラム教徒でも、私たちはロータリーのテーブルに集まった様々なコミュニティー出身の人間です。分裂し矛盾するこの世界において、ロータリーは見事な結束を保っています。地球の隅々まで広がる約34,000のロータリークラブが、同じ定款、同じ細則、同じ「手続要覧」、同じ目的、同じ理想を掲げています。34,000のロータリークラブが、世界中で毎月138,000件の自由なミーティングを開いています：

大義名分を守るために、
人間の社会的立場を向上させるために、
そして、調和と平和を宣言するために。

もしもロータリアンが世界各国に128万人存在する代わりに、会員は200万人いるもののアメリカ合衆国だけに存在したとしたら、ロータリアンは今の私たちほど代表的な存在でも強力でなかったでしょう。日本におけるロータリーの旗の立つた存在感は、ニューヨークやロンドンやパリにおける国連旗と同様に印象的です。

しかし皆様、「超我の奉仕」の標語を読み、ロータリアン誌に目を通し、私の話を聞いていただくだけでは十分とは言えません。「超我の奉仕」は実行してこそ意味を持つのです。ですから、「超我の奉仕」の精神で取り組んでいくことを誓いましょう。私たちが熱意と自信を持って取り組むことがロータリーへの貢献となり、ロータリーは今まで以上の高みに達することになります。

今日のロータリーにおいて特徴的な3つの分野にご注目いただきたいと思います。第一に、国際ロータリーの組織的状况についてお話したいのですが、これを正確に把握することにより、私たちのクラブは自信を持って国際レベルの活動を行うことができます。第二に、ロータリー財団の人道的プログラムに焦点を当てたいと思います。このプログラムは、プロジェクトによる寄付を通じ、皆さんのクラブがより広い範囲の人々に自助努力によって豊かな人生を送る機会を提供できるようサポートします。第二は、特にロン・バートン会長が注意を喚起している、主要な懸案事項についてです。

国際ロータリーは、世界各地のロータリークラブを会員とする連合組織で、ロータリアンはそれぞれ個々のクラブのメンバーです。国際ロータリーの運営機関は理事会で、事務局は主に情報センターとしてクラブのプロジェクトや活動の情報を収集発信します。国際ロータリー理事会の決定事項は、クラブの組織上の問題に関する疑問を解決するサポートをします。事務局からの資料や書簡に書かれていることは全て、クラブの経験やクラブが



採用した規則に基づいています。東京にある国際ロータリー日本事務局には、クラブの運営に関する「判断」や「決定」を行う権限があります。事務局には国際ロータリーのスタッフメンバーがいて、あらゆる面でサポートしてくれます。

それではここで、ロータリー財団とその人道的プログラムの一部を見てみましょう。2011-12ロータリー年度には、ロータリー財団は計米貨1億4千万ドルの寄付を受け取りました。記録的な数のポールハリスフェローのお陰で、よい世界を築くべく、また皆さんのクラブが積極的な勧誘を行えるように、計米貨120万ドルという多額の資金が集まりました。

1965年に始まったマッチング・グラントは、中小規模のプロジェクトに資金を提供しています。2011-12ロータリー年度には170カ国で2,000件のマッチング・グラント・プロジェクトが承認され、米貨3,500万ドルが充当されました。これまでに28,000件以上のマッチング・グラント・プロジェクトが実施されました。今年からこのプロジェクトはグローバル・グラント(補助金)と呼ばれるようになり、最低でも米貨30,000ドルのプロジェクトを抱えています。2760地区のロータリー財団への多大なる貢献を、ここに賞賛いたします。

次に、差し迫った問題に目を向けてみましょう。会員の増加と拡大です。会員数は128万人まで増えましたが、その数は横ばい状態となりつつあります。昨ロータリー年度は、各国から618のクラブが国際ロータリーの新規会員資格を認められました。ロータリーは毎年約1%の成長を遂げていますが、これは既存の各クラブ平均で約4分の1名の成長率です。ロータリーの成長は、実質的には新規クラブ拡大の結果と言えます。皆様ご存知の通り、ロータリーのプログラムは、組織の健全な財務状態と同様に継続的な会員の増強に依存しています。

広報-知は力なり、です。そして啓発への鍵でもあります。ですが、仲間であるロータリアンとのコミュニケーションは問題の半分でしかありません。何しろ、世界のほんの一握りの方々しかロータリーのことをご存じありませんし、その目的やプロジェクトとなれば尚更です。多くの方々は、ロータリーのことをよくある社交クラブの1つだと誤解しがちです。世論は非常に重要であることを心に留めておいてください。私たちは、もっと上手にPR活動をしなければなりません。

世界で最もよく読まれているビジネス誌の1つ「フォーチュン誌」先号に、「岐路に立つロータリー: 経済団体のキャデラックだったクラブに何が起こったのか」という特集記事がありました。ロータリアンは全員この挑発的な記事を読むべきです。この記事にはロータリーの素晴らしさがまるで過去の遺物であるかのように書かれています。筆者はこんなことを書いています: 今が1950年代だったなら、「ロータリーは地域社会クラブのキャデラックだ」と言ったかもしれませんが、ロータリーは最も古く、かつては最上級のエリートだったこともありました。

私はマレーシアで最近行われたゾーン研究会の「地域社会におけるロータリーのイメージアップ」というセッションでパネリストを務めました。

挙げられた質問は下記の通りです:

- 1 存在しなくなった場合、ロータリーは地域社会に惜まれるか?
- 2 ロータリーのイメージに問題はあるのか?
- 3 イメージアップに責任を負うのは誰か?
- 4 講じるべき対策はどのようなものか?

提示された対策は下記の通りです:

- 1 新規会員の教育は、成功への重要な鍵である。
- 2 会員が全てのクラブ及び国際ロータリーの活動に携わることが、ロータリーのイメージアップに繋がる。
- 3 テレビ、ラジオ、マスコミとコンタクトを取らなければならない。それ以外に、私たちの活動を知ってもらう方法はない。
- 4 毎週のプログラムやプロジェクトなど、内部イメージの問題を改善する必要がある。
- 5 ポリオ撲滅という天与の贈り物を活かす。
- 6 地区には、ガバナーに常にPR戦略と状況を伝えるPR委員会が必要である。
- 7 ロータリーのイメージアップに繋がるプロジェクトを実施する。
- 8 襟ピンを毎日着用する。

ロータリーのイメージアップは全てのロータリアンの手に委ねられている、という意見に満場一致で合意しました。

親愛なる皆様、このロータリーを、友情と親睦の喜びを大切にしましょう。元気でエネルギーが満ちている間に奉仕できる機会を大切にしましょう。密接で親密な何かに携わり、その一員となる参加意識を大切にしましょう。クラブの親睦、地域社会並びに生活する国への献身、人を大切に思い、人から大切に思われることの高揚感。国際的かつ世界共通の何かに属し、広い視野で考え広い心で奉仕する感覚を大切に、勇気を持ちましょう。世界を友情で高みに導き、秩序、人類への奉仕、平和が広がるような世界の創造をサポートしましょう。

この地区大会参加者の皆さんの熱意が、私たちの決意の固さを物語っています。出会ったときよりもよりよい世界を作り出す力を、私たちは持ち合わせているのです。

最初の一歩は私たち自身の行動です。ロータリーに積極的に携わり、自分や人の人生を変えることで、今日から行動を起こしましょう。

先ほども申しあげました通り、行動なくしては夢に意味はありません。人生は行動ですから、ロータリーを盛り上げて夢を実現しましょう。ロータリーこそ行動です。ですから、ロータリーに積極的に携わり人生を変えるべく、手を動かし、心をこめて取り組んでいきましょう。

本日は、国際ロータリー第2760地区2013-2014年度地区大会を開催するにあたり、ロータリアンの方々、ご家族の皆様方に加えて、国内外から多くのご参加を賜りまして、誠にありがとうございます。これまで準備を進めてきた私たちは、皆様を歓迎いたします。そして心より感謝を申し上げます。

当地区のために、RI会長代理をお引き受けいただいた国際ロータリー第3830地区パストガバナーAntonio Rufino様、Armita Rufino様御夫婦をお迎え申し上げることができましたことは、私どもといたしましては大変喜ばしく、光栄なことであります。今年度、RI会長ロンバートンさんは“Engage Rotary Change Lives”をRIテーマに掲げています。日本語訳は「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」となっています。われわれロータリアンがこのテーマの下に、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日常的に活かすことができれば、人々の人生がきっと豊かになるでしょう。何よりも自分自身の人生が豊かになるでしょう。

これを受けて第2760地区の方針は「磨いて輝こう」としました。会員の意識向上、奉仕活動の実践があればクラブのパワーアップになり、会員増強にもつながると思います。

大会2日目の記念講演は、トヨタ自動車株式会社名誉会長張富士夫氏を講師にお招きし、「グローバル時代の企業経営」と題して講演いただきますので、お楽しみください。

本大会が会員相互の友情と親睦を深め、有意義な大会になりますようお願い申し上げます。

最後に、本大会の企画、運営、進行に全力で携わっていただいた、昭和ロータリークラブの皆様には深甚なる謝意を表します。



◆本会議第2日目

会場/ウェスティンナゴヤキャッスル

- 9:30 ファミリープログラム集合
- 11:00 RI会長代理主催顕彰昼食会
- 10:30 本会議受付開始
- 12:30 本会議第2日目開会
RI会長代理入場
RI会長代理 / 第3830地区(フィリピン)パストガバナーAntonio A. Rufino
- 13:00 オープニングアトラクション / 名古屋女子大学中学校高等学校吹奏楽マーチングバンド部
点鐘
国歌・ロータリーソングの斉唱 / 名古屋女子大学中学校高等学校吹奏楽マーチングバンド部
フィリピン国歌『最愛の地』
国歌『君が代』
ロータリーソング『奉仕の理想』
開会のことば
RI会長代理紹介
特別出席者紹介
出席クラブ紹介
ロータリーファミリー出席者紹介ならびに代表あいさつ
 - RCC
 - ロータリー財団奨学生/VTT/インドPOLIOワクチン投与メンバー
 - 米山奨学生/米山学友会
 - インターアクトクラブ
 - ローターアクトクラブ/ライラ
 - 青少年交換学生
 物故会員紹介黙祷



- 13:50 主催者挨拶ならびに現況報告
 14:00 RI会長メッセージならびに現況報告
 14:25 記念事業発表・目録贈呈
 来賓祝辞 / 愛知県知事 大村秀章 / 名古屋市長 河村たかし
 14:50 感謝状・記念品贈呈
 ●Antonio Rufino RI会長代理
 ●千田 毅2012-2013年度ガバナー
 ●安城ロータリークラブ(前年度地区大会ホストクラブ)
 2012-2013年度に関する表彰
 ●国際ロータリー表彰
 ●地区表彰
 2013-2014年度に関する表彰
 ●ロータリークラブ創立50周年表彰
 ●ロータリークラブ50年在籍表彰
 15:10 大会決議報告
 ガバナーエレクト紹介
 ガバナーエレクト挨拶
 ガバナーノミニー紹介
 次年度地区大会ホストクラブ挨拶
 委員会報告
 ●米山記念奨学委員会
 15:45 記念講演
 講師紹介
 講演『グローバル時代の企業経営』 / トヨタ自動車株式会社名誉会長 張富士夫氏
 17:15 謝辞
 17:20 講評
 17:30 閉会・点鐘



感謝状贈呈
 沓名俊裕 前年度地区大会実行委員長



超私の奉仕賞 石川 博 会員

